

# 天遊

大阪教育大学 広報誌

VOL.2 2004. AUTUMN



可能性と向きあう

《特集》

いま教師が旬

先生が足りない

良い教師を育てるために

時代が求める新しい授業をつくるために

現職教師のための生涯教育

# いま教師が旬

## 日本の将来のために!!

### 大阪で教員になりたい なれるかな？

なれません。あなたの熱意と努力次第で。

大阪府・大阪市では、少子化の進行による学級数の削減や学校統廃合の影響を受けて、昭和五十年代末から十数年の間公立学校教員の採用数が激減し、以来その総数は長い間低迷を続けてきました。しかし、この長期低落傾向には、今、ヒリオドが打たれようとしています。大阪府・大阪市の公立学校教員採用数は、平成十三年度で全ての校種を合計しても395名でしたが、平成十四年度に一気に1000名を超える採用数になりました。平成十四年度は前年度実績をおよそ700名、平成十五年度は十四年度の実績をおよそ400名近く上回り、平成十六年度も前年度より300名以上上回る採用実績で、採用総数は1800名に達

しています。(表とグラフ1参照)大阪全体で教員が不足し始めているのです。大阪府・大阪市は校種による教員採用数の変化はあるものの、教員需要の拡大傾向が今後十年程度は高止まりを続けるであろうと予測しています。

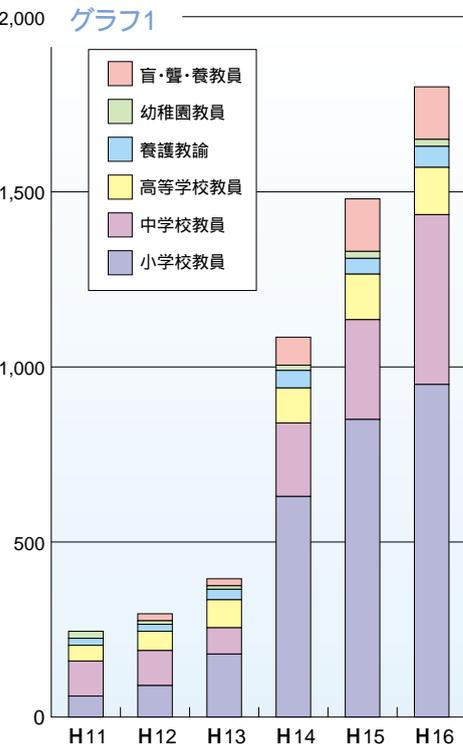
### 大阪府・市における 教員需給の変化と背景

つい数年前まで公立学校の教員採用数は全国的に極端な低迷を続け、教員を養成している教育大学は、「冬の時代」を迎えていることが新聞等で繰り返し報道されました。昭和から平成への移行期を中心とする十数年間のこの傾向には実は背景があります。古い話になりますが、「団塊の世代」と後に呼ばれることになる戦後ベビーブーマー達が義務教育年齢に達し始めた昭和三十年代前半に、教師不足の現象が出現しました。その現象が下火となった後、再び教員の大量採用が始まるのは昭和

和四十年代のことです。当時は国の経済が高度経済成長期に入っており、人材不足が深刻になり始めた社会情勢下にあつて、「団塊の世代」の子弟が大量に公立学校へ入学してくることが目前に迫っていました。また、大都市にあつては新興団地を中心に人口の集中化が起こり、そうした地域では小学校でさえモンス化現象が生じて、これを緩和するために学校数を増やさなければならぬという副次的な要因も発生したりして、まれに見る教員の大量採用が昭和五十年代まで続くことになりました。(グラフ2参照)人材の選別を度外視したこうした教員の大量採用が、教員にでもなるか、あるいは、教員にしかねない」という、「でもしか」先生と呼ばれるネガティブな教師像を生み出す遠因ともなりました。教員の需給との関係からすれば、今その端緒にいたる教員の大量採用の現象は、昭和四十年代にあつた波の再現であることがわかります。

言い換えれば、教員の採用には十数年を単位とする波のような周期があつて、これから大きな波に乗るつもりしている時期だと考える

グラフ1



ことができるのです。ただ、今回の波はその質の点では、これまでとは大きく異なっていることに注意する必要があります。平成十六年度の教員採用に当たつて大阪府教育委員会は、「豊かな人間性、実践的な専門性、開かれた社会性」を教師の資質として求めていますし、「情熱、考えるプロとしての自覚、人間味」を大阪市教育委員会は求めています。つまり、大量に教師が必要ではあつても、質の高い教師が求められているのです。教育経験のある新任教員が求められることなどもこうした要請と関連するものです。

	H11	H12	H13	H14	H15	H16
小学校	60	90	180	630	850	950
中学校	100	100	75	210	285	485
高等学校	45	55	80	100	130	135
養護教諭	20	20	30	50	45	60
幼稚園	20	10	10	15	20	20
盲・聾・養	-	20	20	80	150	150
計	250	295	395	1,085	1,480	1,800

単位:人

# 先生が

# 足りない

## 大阪教育大学の 教員養成の役割と特色

大阪教育大学は、前身の師範学校時代を含めれば、これまでに百三十年を超える教員養成機関としての歴史を刻んできました。大阪府・市の公立学校へ有為な教員を送り出すことは無論のこと、他県や市へも多くの人材を輩出してきた実績を持っています。ごく最近のデータの一端をご紹介します。

大阪府の小学校種の平成十二年度の大学四年生の合格率が5.2%、平成十三年度が9.1%、平成十四年度19.5%、平成十五年30.2%、平成十六年度28.2%に対して、同じ条件下の大阪教育大学四年生の合格率は、平成十二年度13.0%、平成十三年14.8%、平成十四年度28.5%、平成十五年51.6%、平成十六年度56.6%と推移しており、全体として優位性を保っています。大阪市についても同じような状況ですが、採用枠が府よりも小さいことから、大阪教育大学の四年生の合格率が突出して高い年もあります。(平成十六年度75%)しかし、これらの合格者は大阪教育大学の人材の一部に過ぎないのです。教育現場で力量ある教師の採用を府・市とも重要視していることから、教育現場で講師として活躍している卒業生も多くが採用されていきます。その割合を小学校種で見ると平成十二年度は新卒者58.3%に対して既卒者41.7%、平成十三年新卒者44.2%に対して既卒者55.8%、平成十四年新卒者37.8%に対して既卒者62.2%、平成十五年新卒者41.8%既卒者58.2%、平成十六年新卒者46.0%既卒者54.0%となっており、新卒者と同数、あるいはそれ以上の卒業生が新たに正規の教員として学校教員になっていきます。

大阪教育大学は、教員となる人材の養成を通じて大阪府・市の教育の現在と未来に対する使命を果たすことを大きな目標に掲げています。

大阪教育大学の教員養成教育の特徴は、それではどんな点にあるのでしょうか。大阪教育大学の教員の養成は、大学での教育と教育現場での体験という二本の柱から成り立っています。時代が求める基礎学力の習得とその基礎の上に専門性を発展させることを大学教育の根幹に置いています。具体的には、人や情報の急速な国際化に対応できる基礎能力を身につけるための外国語やネットワーク社会に対応するための情報スキルの基礎能力の涵養などを重視しています。外国の8カ国13の大学と学術・学生交流の

協定を結び、百数十名の留学生を受け入れているのも、こうした考えに基づいています。しかしそれだけでは十分ではありません。優れた教員の資質は、教育現場での必死の努力によって培われるものでもありません。大阪教育大学は大都市の教員養成大学としては例外的に大阪府・市の教育委員会と広範囲にわたる連携協力協定を結び、学生が「学校サポート事業」に参加して、教育現場で自らを磨くことを支援しています。

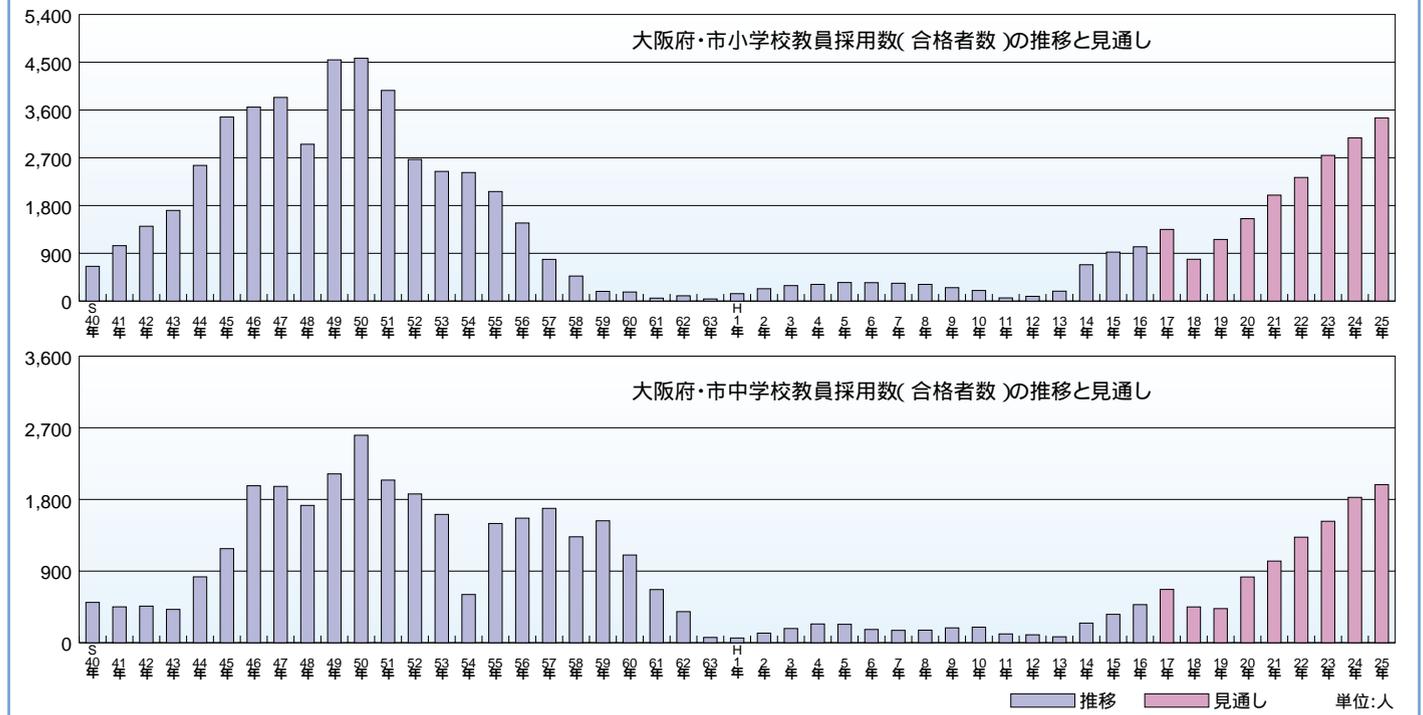
さらに、教育実習の充実のために4年間積み上げ方式の教育実習の導入を企画しています。教員免許に関わっては、小学校・中学校・高等学校の免許のほか、障害児、幼稚園、養護教諭の各教員養成課程を置き、すべての教員免許状に対応できる体制になっています。現職教員の再教育や社会人のための教員養成教育のために全国的にもユニークな第二部を設けて夜間の学習による教員養成の充実を図ってもいます。

教育と教員養成の未来に向けても大阪教育大学は取り組みを進めています。教育業務の高度化と実質化への対応を見込んでこれからの教員養成において大きな課題となる、教員養成の専門職大学院の設置と教員免許の更新制に備えるべく、すでに様々な検討を重ねています。

「教員養成は今が旬」です。大阪教育大学は、大阪の教育と教員養成に責任を果たしたいと思えます。

栗林 澄夫

グラフ2



# 良い教師を育てるために

## 教員養成の新しい風

### ◎学校サポート活動

#### 学校に吹く

#### さわやかな風

「学校サポート活動」  
 瓢箪から駒が出たような

平成十四年に大阪府教育委員会から大阪教育大学に対し、「まなびング・サポート事業」についての協力依頼がありました。子どもたちへの学力支援をはじめ、いろいろな教育活動支援することを目的に、大学生を教育現場に送り込んでほしいというものです。

大阪教育大学は、柏原市に対しては学校支援活動をすでに開始していましたが、「まなびング・サポート事業」は、大阪府全域の小・中学校を対象とするという大規模なものであり、瓢箪から駒が出たように、大阪教育大学の学生や教職員にとって大きなインパクトを与えるものでした。

「いろんな子がいるので驚いた」

「まなびング・サポート事業」の具体的な内容を紹介します。まず、学生は学校と交渉して活動内容を決定します。その活動内容は、あらかじめ大阪府教育委員会との打ち合わせによって、「教科指導の補助(個別指導・授業補助・実験実習補助・実技指導補助等)」、「総合的な学習の

時間の指導補助」、「パソコン指導補助」、「図書館教育指導補助」、「英会話・英語活動指導補助」、「学級活動・学年活動」、「休み時間放課後の活動(児童との遊び)」、「行事の補助(校外活動・体育的行事・学芸的行事等)」となっています。

活動を開始した学生には、「具体的にどのような活動をしているのか」、「活動してどのような感想を持ったか」の聞き取り調査をしています。サポーターを受け入れている学校で多いのは、やはり授業補助です。担任が授業をしている教室で、個別指導をするというものです。夏休みの宿題や補習プリントの指導もあります。この他、図書館のカウンター作業、昔遊び(竹馬、お手玉、あやとり)の練習指導、子どもと遊ぶこと、小学校での英語に親しみという授業補助、学習の遅れている子どもへの学習補助、新聞作りのサポート、帰国子女の授業補助、多動といった特定の子どもの補助、教室に入れない不登校の子どもの補助など、学校の事情によつて具体的な活動内容は多岐にわたっています。

学生の感想を調べると、2年生と3・4年生ではその内容が違います。2年生の感想は、楽しい。自分のためになっている。「面白かった」、「子どもとかわかれるので良か

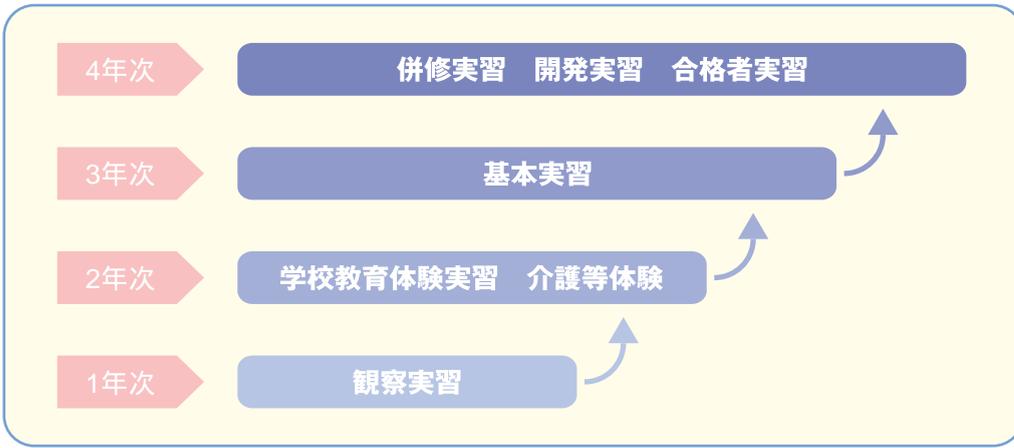
た」という比較的単純に楽しくさせてよかったというものです。それが3・4年生となると、「同じ子どもでもその日の気分や体調によって別人のようになりたりするのが面白いし、先生の対応によつても違つので、いつ行つても新鮮」、「担任の先生から細かい指導を受けられて充実している」、「附属での実習の後に行つて、公立学校の子ともと接することが出来て、全体像を見ることが出来てよかった」、「いろんな学年を担当し、発達段階や学年の雰囲気が違うことがわかった」、「正直いろんな子がいて驚いた。そういうところも勉強になる」など、子どもの様子をしっかりと捉えていることが分かります。

#### 受け入れ校の感想

これまで14校の受け入れ学校を訪問し、校長先生にご意見を伺いました。人手が足りないのを助かるということに加えて、「沈滞している学校に颯爽とした風を送ってくれている」、「若い方が学校に入ると、ベテランの先生の活性化になる」という感想がありました。教員をめざす学生が子どもたちとの触れ合いから学んでいると同時に、その活動が学校にさわやかな風を送っていることは確かです。

◎4年間積み上げ方式の教育実習をめざして

教師を目指す学生にとって、教育実習は大学教育のハイライトです。大阪教育大学の教育実習は、3回生の「基本実習」が中心でしたが、近い将来に4年間積み上げ方式の教育実習に移行する予定です。ここでは、いま大阪教育大学で計画中の案をご紹介します。



観察実習

「教職入門セミナー」という授業で、短期間ですが学校に出かけ、これまでの学びの立場から教える立場への転換をはかります。

学校教育体験実習

学校ボランティアともよばれ、学生は自分の希望する活動を学校で体験します。そこで豊かな学校経験を60時間以上得て単位を取得します。

基本実習

これはフルタイムの実習であり、現実の学校で学習指導と学級経営の力をつけるためのものです。

これまで大学で学んだことの集大成が期待されます。

併習実習

小学校課程の学生で、中学や高校の教員免許の取得も希望する場合、あるいは中学校課程の学生が小学校や幼稚園の教員免許取得を希望する場合に用意されています。

開発実習

基本実習で学んだことをレベルアップしたい場合、カリキュラム開発や教科教育あるいは生徒指導など自分の研究テーマに即した授業実践を短期間行うものです。

合格者実習

教員採用試験に合格したのみを対象とし、学校現場での経験をより多く得て自信を持ちたい場合や専門外の校種の経験を深めたい場合を想定しています。

4年間積み上げ方式による教育実習は、以上の案を土台に教員養成大学として、理論的な知識とともに臨牀的な知識をさらに深めるために、今後さらに検討を進めていきます。

米川英樹

◎スクールリーダーの「学びの場」を創る

学校づくりを支援する

大阪教育大学スクールリーダー・プロジェクト(SLP)は、スクールサポーターとスクールリーダー教育の構築をめざして設置された学内横断組織です。学校の自主性・自律性の確立が最重要課題とされている今日、スクールリーダー(学校づくりの中核)になう教職員が組織マネジメントの考え方と技術を学ぶことは必要不可欠となっています。SLPは学校づくりを支援するために、大阪府・大阪市教育委員会と連携協力しながら、次のような事業や開発的研究に取り組んできました。

理論・政策・実践の交流

このように多様な活動を通して、SLPは学校づくり実践や教育政策・行政の展開に関わりつつ、研究知と実践知の交流や統合の在り方を検討しています。大阪教育大学は、そこで得られた成果を、大学院の授業科目「学校マネジメント学」「スクールリーダー実践論」に生かすとともに、スクールリーダー教育のカリキュラム開発や組織づくりに反映させていきます。

大脇康弘・服部憲児・大野裕己

■多彩な活動

- (1) スクールリーダー・フォーラム(SLF)  
大阪府教育委員会連携事業、年1~2回の開催
- (2) スクールリーダー・セミナー(SLS)  
夏期集中講座「学校づくりの思想と技術」実施
- (3) 大学と連携した学校づくり(PDS)  
構想づくりと実施への協力
- (4) 「学校評価実証校」支援プロジェクト  
大阪府教育委員会連携事業、校長研修会への指導助言
- (5) 「スクールリーダーの学習拠点」としての専門職大学院づくり(SLC)

—School Leaders Project の挑戦—

■スクールリーダー・フォーラムにおける研究協議

- 第1回 「学校教育自己診断を実践する 学校を開く試み」
- 第2回 「学校を開く・学校を診断する  
学校協議会と学校教育自己診断を連関させて」
- 第3回 「スクールリーダー養成の必要性と可能性  
専門職大学院づくりを軸に」

# 時代が求める新しい授業をつくるために

## 大阪教育大学のチャレンジ

### ◎地域と連携した総合的な学習「キッズ・ベンチャー」

「いまだかつてなかったような急速かつ激しい変化が進行する社会」(2003年度中央教育審議会答申)と云われる時代を生き抜かなければならないのは、私たちであり、子供たちです。

大阪教育大学では、2002年体験型早期起業家教育「キッズ・ベンチャー」を提案し、それ以来地元柏原市の小学校で毎年、総合的な学習の時間を活用して学校の先生と共に学生も参加して授業を展開しています。

ここでは、昨年度柏原市立柏原小学校の4年生107人と行った活動の様子を紹介します。

1学期にはものづくりの技術を磨きます。学校で育てた瓢箪の加工。藍や地元の名産フドウを使った染色も行いました。グループに分かれて、会社を設立し、社長や会計係など自分にとって役割につきます。夏休みには地元の商店街でお店を調べ、お店新聞を作りました。



2学期には商品の値段と販売個数を決める事業計画を立てます。銀行からお金を借りて、材料や半製品を仕入れ、商品に仕上げます。職ボスターやチラシも作ります。職(のぼり)は柏原市から提供してもらいました。商店街の店主さんから商売のお話を聞き、大きな声で挨拶をする練習もしました。



いよいよ開店当日。JR柏原駅前広場は柏原市商工会と柏原市の職員の手により、子ども商店街に早変わり。「どんなお客さんが買ってくれるかな。自分達の商品がちゃんと売れるかな。」わくわくどきどきしながら子ども達は会場に商品を運びました。

販売開始。溢れるお客さんの対応や売り上げ管理、おつりを間違えずに渡すのも一苦労です。お客さんが少なくなると、声をそろえて呼び込みもします。会場には子ども達の作ったテーマソングが流れています。



振り返り。収支決算をして利益を計算します。利益の二部は「ニセ」に寄付し、世界の子どもの様子も勉強しました。一人一人の個性溢れる感想文は、明るい将来を感じさせてくれます。

関隆晴



皆さん、特許、実用新案とか著作権という言葉を目にしたことがありませんか。現代社会においては特許や著作権を含む「知的財産」の重要性が非常に高まってきています。発明(特許)の代償として200億円を会社に請求した、というのは新聞でも話題になりました。身近なところでは、あの小室哲哉さんも特許を「出願」しています。また大仁田厚さんはリングの実用新案を持っています。ジャニーズ事務所が、タレントの名前を商標登録しています。また著作権は、情報科の設置に伴って学校現場では非常に重要な課題となっています。例えばホームページを作

### 知的財産とは

知的財産とは、人間の知的創造活動の成果物のことであり、独創的なアイデアである「発明」や「考案」、ユニークなデザインである「意匠」、音楽や小説、絵画などの「著作物」などがあります。また、これらは、知的財産権、知的所有権として、それぞれが特許法、実用新案法、意匠法、著作権法によって保護されています。これらの創造、保護、活用が、現代社会では重要な問題となっています。

るとき他のホームページの絵や写真を使えるのか、また授業で使う資料であれば何でもコピーして使っていいと思いますか?この様に、現代では、企業活動、教員活動に、特許や著作権の知識は欠かせなくなっています。つまり現代社会を生きるうえで重要な「生きる力」とも言え、学校教育での普及が望まれています。また国も、知的財産立国を目指し、知的財産基本法を制定し、その中で知的財産教育の重要性を掲げています。

そこで、大阪教育大学では現代社会に対応した教員養成の観点から、知的財産教育の研究実践を行ってきました。

また平成十三年度から、特許庁からの委託研究「大学における知的財産教育の研究」を受託し、学内教員、附属学校教員からなるプロジェクトチームを立ち上げ、教育研究を推進してきました。

その成果は、報告書にまとめられています。昨年度は三重大学と共同で、大阪教育大学・三重大学合同知的財産教育セミナーを大阪教育大学天王寺キャンパスにおいて開催し、両大学の知的財産教育研究の成果の発表を行いました。セミナーには50名以上の参加者があり、活発な議論が行われました。このセミナーは、読売新聞でも取り上げられ、



注目されました。

またプロジェクトでの教育実践の成果として、平成十五年度、第33回「大阪府生徒児童・教職員発明くふう展(社団法人発明協会大阪支部、毎日新聞社主催、大阪府、大阪市等後援)」において、附属池田中学校生徒



読売新聞 平成16年2月18日付  
この新聞記事は、読売新聞社の許諾を得て転載しています。  
無断で複製、送信、出版、頒布、翻訳、翻案等著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

の作品「落ち葉わけちりとり」が近畿経済産業局長賞を、同じく「伸縮自在ラック」が奨励賞を受賞し、また学校賞にも輝き知的財産教育の成果が着実に始まっています。

さらに、大阪教育大学では23回生向けに知的財産セミナーを実施しており、知的財産の専門実務家である弁理士の先生や日本コンピュータソフトウェア著作権協会の方に来て頂き、理論だけではなく、現代社会における知的財産の現状や実務について勉強できる機会を設けています。来年度からは、教養基礎科目において、「知的財産入門」を設定し、大学生が身に付けるべき教養としての知的財産の教育を全学的に行います。今後さらにプログラムの充実を計り、卒業後、企業、学校において知的財産を理解し活用できる人材を養成する予定です。

片桐昌直

# 現職教師のための生涯教育

## 社会人、現職教員の受け入れ

### ■大学開放のための講座

当初の大学開放のための講座は児童・生徒や教員を対象とする教育現場に関連する内容に偏っていました。近年はできるだけ幅広い市民層に大学の知的資産を開放する必要性から、対象者を限定しない講座が多数を占めています。本年度は37の公開講座と7科目の授業公開を有料で実施または予定しています。授業公開とは夜間学部の正規授業、すなわち語学系科目(中国語2科目、ドイツ語)、スポーツ系科目(コースポーツ)と美術系科目(デッサン、水彩、基礎デザイン)を開放する講座です。対象は市民と



してはいますが、スポーツと美術科目の講座内容は教科指導力の向上に役立つものです。

対象者を教員に限定している公開講座としては、「国語の力」実践小学校英語教育法(入門、中級)、「小学校英語を学ぼう!」小・中学校教員のためのびんご教室「moxie編」手軽に楽しむ染め、「障害児教育の現状と課題」の7講座があります。他に教員対象ではありませんが、学校保健活動を含む保健事業に関わる方を対象とする「moxie・SDSSで学ぶ公衆衛生講座(初級・中級)(新設)」、植物染料(藍染め)の学校教材化を目指した、植物採集から織りに至る内容の新設講座です。小学校英語をテーマとした3講座は、外国語や外国に親しませるため、小学校で実践可能な英語教育を指導する講座です。特に「小学校英語を学ぼう!」は、近隣小学校6年生の協力を得て模擬授業写真)を組み入れた特徴ある実践的な講座です。「国語の力」障害児教育の現状と課題」は、昨年までの講座を模様替えした講座で、国語や障害児教育に係る教員の指導力を高める講座です。また、「びんご教室」「公衆衛生講座」は、教員の事務処理と情報教育に係るびんご活用力を高めるソフト実習を中心とする講座です。

市民対象の講座にも教員が受講している講座があります。たとえば、「書(春、秋)」は、王羲之をテーマに楷書

の基本・字形のとり方と用筆法を教える講座です。また、「陶芸(入門、中級)(新設)は、土練りから段階的な作品づくりと絵付けや釉薬かけを一年間にわたり体験できる講座です。十二月開講予定の「能楽を楽しむ」(新設)は、「ユネスコの世界無形遺産に認定された能楽をより多くの市民に理解していただく講座です。大阪教育大学教員による演目解説と能楽師による能楽の楽器・謡や所作の体験指導および能楽堂での能楽鑑賞を併せた総合講座で、できるだけ多くの学校関係者に参加していただき、古き日本文化を学び、国語はもとより表現活動の教材の種を発見してもらいたいと希望する講座です。

有料講座の他に、地域開放事業として教育現場に係る講座を無料で実施しています。たとえば、「放課後ものづくり」講座(学校休業日に実施)は、開催日毎にはじめて出会う子ども達に毎回異なるものづくりをさせることで子どもたちの社会性と学習意欲を向上させる試験的な講座です。「Gyromis」講習会は汎用関数とグラフ描画処理用の数学教育用フリーソフトのGyromisを教育現場に広めるため、ソフト操作法と活用方法を教える講座です。

### ■地域連携のための講座

「能楽を楽しむ」では能楽若手研究会と連携していますが、他に天王



寺区役所・八尾高校を含む3高校、そして教育委員会とも連携しています。天王寺区役所とは春の、市民のための「びんご教室」と秋の、中高齢者のための健康づくり」を、八尾高校とは全数119名が受講申請している夜間学部の正規授業の公開講座(前期23科目、後期17科目、通年5科目)を、さらに夕陽丘と清水谷高校とは毎年7月に実施している短期公開講座本年度は3日間11講座をそれぞれ連携企画しています。なかでも、講座数と募集人数で最大規模の講座が、毎年8月に実施している大阪府・大阪市の両教育委員会と連携している講座です。本講座は、教育をめぐる課題について最新の研究成果を学びなが

ら、学校現場の教諭と大学教員とが交流できる機会を提供することを目的として、府下の教職員を対象とする研修講座です。1期目は50人規模の小さな講座でしたが、2期目に大阪市教育委員会が連携に加わり44講座約1800人規模に、3期目の本年度は55講座約2900人規模とさらに拡大しました。2期目からは、「学校教育全般に関する講座」「教科指導力の向上を目的とする教科教育法的な講座」「教科に関わる教養的な講座」の3つの柱で、6日間の講座を構成しています。本年度の各柱に当る講座数カラム内は昨年度数はそれぞれ28(9)、10(8)と16(28)です。なかでも「学校教育全般に関する講座」では、興味ある内容の講座を集中して学べるように、テーマを開講日毎にまとめました。学校安全講座、学校安全教育講座、学校労働衛生講座、人権問題講座と総合的な学習講座写真)、メディア教育講座と学校経営講座、不登校と引きこもり学習講座と学校安全講座が、本年度開講した「学校教育全般に関する講座」の目別テーマです。

本講座に対する教育委員会側の期待は年々高くなっています。今後は、受講者がより能動的に取り組める研修講座とするため、座学中心の講座から実習や実験などを織り交ぜた講座特に理系科目においてを増やしていきたいと思っています。

澤田 和弘



実験研修では、4人の受講生(高校の先生)に大学の教員が1人付くという個人指導に近いものです。

平成14年	高等学校教員のための組み換えDNA実験安全教育研修会
平成15年	高等学校学習指導要領改訂による新領域「生命と物質」に関する実験講習会
	バイオテクノロジー実験講習会VI「生命科学と情報科学のつながり - バイオインフォマティク入門 - 」
平成16年	化学系教員のための環境化学入門 - 化学物質のリスクおよびベネフィット - に関する実験講習会

### SPP事業とは

連携型科学技術・理科教育推進事業(サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業)は、大学、研究機関、民間企業等と学校の連携により、児童生徒の科学技術、理科、数学に関する興味・関心と知的探究心等を一層高める機会を充実するために実施されているものです。



### 教室での授業のために選ばれたテーマ

- ◆電池を作って見よう
- ◆合成色素を使った「あいぞめ」と「あかねぞめ」
- ◆花火の色のふしぎ
- ◆塩水のふしぎ・人工魚
- ◆気分はモスラ?レーヨンとナイロンを作ってみよう
- ◆僕もエジソン?
- ◆低温のふしぎ
- ◆楽器を作ってみよう
- ◆砂粒の中から宝石を探そう
- ◆マイスナー効果の観察

## ◎現職高校教員への先端科学に関する実験研修

現代科学技術の発展は非常に早く、高等学校の先生方もその発展を授業に生かすことが難しくなってきました。そこで、大阪教育大学は、文部科学省のサイエンスパートナーシップ・プログラム事業(SPP事業)を使い、大阪府教育委員会との連携により、先端科学技術の一端を知ってもらうために、実験講習会を5年間続けています。昨年は、生物系の先生方に、バイオテクノロジーの基礎である、酵素の結晶化も体験してもらいました。また化学系の先生方には、最近問題となっている発がん性物質や環境ホルモンの検出を通して、「化学物質の安全性」を考えてもらう実験講習会を行いました。



今年度の研修では、SPP事業のDVD用の記録ビデオも撮影され、全国に配布される予定です。

## ◎小学校新任教員に対する理科実験研修

大阪教育大学ではSPP事業「理科大好き教員を目指すかがく実験教室」を、過去3年継続的に開催しています。本年度は、八尾市、柏原市、藤井寺市の教育委員会と連携して開催し、理科教育講座、自然研究講座、実践学校教育講座に所属の物理、化学、生物、地学系教員21名が担当しました。

参加者は、上記3市の小学校初任者の先生が中心で、自らの体と手で実験してもらうことで、理科実験・観察の原理の理解、手法の習得をすると共に、自然科学に関心を持つてもらい、今後の現場での教育に生かしてもらうことを目的としたものでした。今年度は、小学校の先生を中心とした61名の先生方が、2日間にわたり、3〜4名のグループに分かれ、普段は学校ではできない実験や学校に持ち帰って試したいような実験に、熱心に取り組んでいました。

参加した先生方からは、再び参加したいという感想が多数寄せられるほど充実した2日間となりました。



自作の電球が点灯

この様に大阪教育大学では、大学での授業以外のような形で、現職教員の方々に研修などの勉強の機会を、各教育委員会と連携しながら提供しています。

有賀正裕



# 附属学校紹介

## 大阪教育大学 附属養護学校

### 子どもの発達と可能性の より豊かな実現を図ることを 目指しています

附属養護学校副校長 細川 修



小学部、介護等体験の学生さんと(クラス生活)  
クラス生活の時間に新聞紙“バリ”の遊びをしました。クラスの友だちや先生と楽しく遊ぶことができました。学生さんもいっしょに参加してくれました。とても楽しい時間を過ごすことができました。



中学部、大学での活動(スポーツデー)  
日頃学校の体育館や運動場で行っているテニスを大学のコート进行、広々としたなかでテニスを楽しむことができました。学長といっしょに記念写真も撮影しました。とても感動的な一日でした。

本校は昭和四二年に附属養護学校として開校し、今年で三九年目を迎えました。  
学校は、大阪市内平野区交通の便の良いところに位置する知的障害の養護学校で、児童生徒数は定員60名(小学部18名、中学部18名、高等部24名)です。  
教育目標は、一人ひとりの人格を大切に、個別指導や集団指導を通して具体目標の達成に努め、それぞれの子どもの発達と可能性のより豊かな実現を図ることを目指しています。



高等部、介護等体験の学生さんと(木工)  
介護等体験の学生さんと木工の授業に参加しました。棚作りをしましたが、学生さんに手伝ってもらって難しいネジ止めをやりました。上手にできてよかったです。とても楽しく作業ができました。



## 留学生の眼

グレゴリー ロマニヨリさん (フランス出身)  
Gregory Romagnoli 日本語・日本文化研修留学生

### 1年という期間。 短かったが多くのことを体験しました。

#### 不安もあった日本への留学

私はフランスで日本語・日本文化専攻に所属しているので、1回生の時からずっと留学生として日本に来ることに慣れていました。奨学金を受けて日本に行くことができた先輩がとても羨ましかったです。3回生になって学部長に「受験生が多いからレベルは高いけれど、奨学金の試験を一度受けてみないか。」と言われて「まあ、いいんじゃないか、経験になるし」と思って受験してみました。返事が届いた時に夢が叶いました。

観光客として日本に来たことはありましたが、1か月の観光と1年間の留学はかなり違います。日本に行けることへの興奮も



ありましたが、不安もありました。日常生活の場面にも人間関係にも。「西洋では普通だけど日本で失礼だと思われることを、やってしまったらどうしよう」、「もし健康の問題があったら病院へ行ってお医者さんの言うことを理解できるかな」など。しかし大学に入って他の留学生や日本人の友達がすぐにでき、私が困った時に友達は助けてくれました。そして不安が消え、すぐ楽しくなりました。カラオケへ行ったり、日本料理を食べに行ったり、寮で鍋パーティーをしたり、とても楽しい思い出になりました。フランスで日本のクラブ活動のことを聞いて私もやってみたいと思っていたので、サークルに入りました。そこで友達ができ、とても楽しい時間を過ごしました。しかし1年間ずっと遊ぶわけにもいきません。せっかく奨学金を受けたから日本語をはじめ日本の伝統音楽・歴史学・古典文学など興味を持っている科目を勉強してみました。これらは普通の日本人学生のための授業ですから、先生もほとんど皆大阪弁で授業を行うので、最初のころは非常に難しかったです。しかし段々と慣れ、同時に私の大阪弁も上達しました(笑)。

#### もう一度日本に戻ってきたい

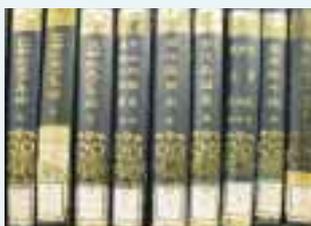
いろいろな授業を受講し、多くの知識を得てとても勉強になりました。そして1年間があっという間に過ぎてしまいました。10月にはフランスに帰らなければなりません。向こうの大学に戻ってまたしっかり勉強をして卒業しようと思ったり、大阪教育大学で得た知識をフランスの人たちに伝えたいと思ったり。そして、いつかもう一度日本に戻ってきたいと思ったり。



## お気に入りの本

「有朋堂文庫」文語体体験

有朋堂文庫は1910 (明治43)年から1935 (昭和10)年までの25年間にわたって刊行された文庫で、362点を数えます。内容は、記紀歌謡から源氏物語、東海道中膝栗毛、三国志など、古典文学を中心とした幅広い全集ものです。



本の形態は岩波新書を2冊束ねたくらいの大きさで、平均600~900弱の頁数です。今の新書類が200頁くらいであることからするとかなり大部なものということになります。

文章は今日からいうと、文語体・旧仮名遣い、漢字にはふりがなが付されていて、ところどころに挿絵が挿入されています。こう並べると読みにくく感じられるかも知れませんが、意外に読みやすく、こちよい文章に思わず時間を忘れるということもあります。手頃なサイズと読みやすい内容は当時の読者の読書要求にも応えたものと思われそうです。

大阪教育大学附属図書館では、125点の有朋堂文庫を所蔵しています。

寒川 登 (附属図書館専門員)



## キャンパス散歩



駅から徒歩でキャンパスへと向かい、階段を登り切ると共通講義棟へ進むと、右手に大きな黒い石のかたまりが見えてきます。近づいてみると作品名や作者名などが書かれた小さな銘板があり、これが芸術作品、オブジェであることがわかります。

実はオブジェはこれだけではなく、学生の作品を含めキャンパス内には他にいくつかのオブジェが屋外に置かれています。共通講義棟の横には、表面が鏡のようになったステンレスの作品や錆を発生させた鉄の三角形が4つ並んだ作品、他には曲面の板ガラスを同心円形に何枚も垂直に並べ、その回りに池を配した作品、などです。これらはいずれも結構な大きさで、元は美術館に設置されていたものです。芸術作品と思うと見方も変わってくるかも知れません。

作品と対峙し、何を感じるか。もちろん無料でご覧になれます。



## ■平成17年度入試日程(平成17年4月入学)

区 分		出願期間	入試日	合格発表日
教育学部第一部	推薦	11/1～11/5	11/20	12/3
	私費外国人留学生	1/5～1/11	1/29	2/10
	一般	前期	1/24～2/2	2/25～2/26
後期		3/12		3/23
教育学部第二部	小学校5年課程	1/24～2/2	2/25～2/26	3/7
	小学校5年課程3年次編入	1/5～1/11	2/12～2/13	2/18
特殊教育特別専攻科	言語障害教育専攻	1/5～1/11	1/29	2/10

入試日程に関するお問い合わせは TEL.0729-78-3324までお願いします。

## ■進学相談会のお知らせ

対 象 者	と き	と ころ
受験希望者・高等学校2年生等	11/3	大阪教育大学 柏原キャンパス
第二部3年次編入学希望者	11/3	大阪教育大学 天王寺キャンパス

進学相談会に関するお問い合わせは TEL.0729-78-3324(柏原キャンパス)または、TEL.06-6775-6605(天王寺キャンパス)までお願いします。

## ■現職教員や社会人をはじめ広く一般の方々に学習機会を提供するため下記の制度を設けています。(平成17年4月入学)

区 分	出願期間	備 考
科目等履修生	教育学部	出願要項は12月下旬頃配布(予定)
	大学院教育学研究科	

科目等履修生とは、学部又は大学院の正規の授業を聴講して単位を取得できる制度です。各種免許・資格の取得や特定のテーマについて専門的に学びたい方などが受講されています。また、本制度により取得した単位は、学部又は大学院の正規学生として入学後の単位に換算することができます。

教養系大学院として大阪市北区中之島のキャンパス・イノベーションセンターにサテライトキャンパスを設置しており、そこで教養系の科目を履修できる「大学院サテライト科目等履修生」も併せて募集します。

科目等履修生に関するお問い合わせは TEL.0729-78-3545までお願いします。

区 分	出願期間	備 考
研 究 生	教育学部	出願要項配布中
	大学院教育学研究科	
	教育学部(外国人留学生)	
	大学院教育学研究科(外国人留学生)	

研究生とは、学部又は大学院を卒業・修了された方が、ある特定の研究テーマに対して指導を受け、あるいは授業を聴講する制度です。(聴講した授業に対する単位の認定は行いません。)

研究生に関するお問い合わせは TEL.0729-78-3297までお願いします。

## 『天遊』とは

「天遊」は、荘子の言葉から引用されたもので、人間の心の中に自然に備わっている余裕をあらわしています。キャンパス統合移転の記念に旧師範学校以来の同窓会3団体から寄贈された記念碑に銘文として刻まれています。



## 本誌にご意見をお寄せください

本誌『天遊』は今後の誌面づくりに皆様のご意見を積極的に取り入れていきたいと考えています。ご感想やご意見、大阪教育大学についてお知りになりたいことなどをお聞かせください。

宛先 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1  
国立大学法人大阪教育大学総務部企画広報課  
TEL.0729-78-3344 FAX.0729-78-3225  
E-mail kikaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

ホームページ <http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/>

## News

平成16年6月8日～8月3日にかけて、池田市民文化会館、池田市中央公民館、阪急百貨店大阪・うめだ本店において児童絵画作品展「あったらいいな!こんな学校」を開催しました。作品展に出展された作品約720点を、ホームページに掲載しています。

子ども達が、一生懸命描いてくれた夢の学校の様子を是非一度ご覧ください。

<http://www.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/somu/somu/gakko-anzen/kaigaten.htm>



古紙配合率100%の再生紙を使用しています。



アロマフリー型大豆油インキを使用しています。